

## MOOCに関するFAQ

Q1. MOOCを制作するにあたり、教員にはどの程度の負担がありますか。

講義の規模や内容によって異なりますが、以下のような点について検討する必要があります。

(a) 講義ビデオ撮影

講義ビデオ撮影に先立ち、使用するスライドと読み上げ原稿を事前に作成します。1週間分の講義ビデオの目安としては、1回2時間の撮影で、2回程度の撮影日を要します。

(b) クイズ、課題、試験等の作成

edXのツールを使って、各種問題を作成します。オンラインシステムを利用するため、最終レポートのみでの評価が難しいなど、評価方法に工夫が必要になることがあります。

(c) TAの雇用

講義の資料制作や運営を支援する、分野の内容に精通したTA（できれば数名）が必要です。配信前の講義コンテンツのβテストや掲示板への質問対応などを担当します。

(d) 講義資料の英語化、英語添削

過去におこなった講義の内容を利用する場合、手元にある教材を英語化から始めることもスムーズに講義コンテンツ制作を進めることにつながります。

Q2. OCWとの違いは何ですか。

OCWでは、撮影した講義ビデオやその他の関連するコンテンツを本学のOCWのサイトから配信しています。一方、MOOCでは、対面の講義と同じように、毎週新しい講義ビデオが追加され、受講者はそれを視聴しながら、関連する課題にも取り組みます。講義の配信終了時には、100点満点で成績が提示され、一定の条件を満たした受講者には修了証が発行されます。

Q3. 著作権はどのように処理すればよいですか。

本学はOCWの経験の蓄積もあり、講義で用いる教材の著作権処理については、その都

度スタッフが対応します。多くは引用処理で対応が可能です。

Q4. TA は必要ですか。

特に、掲示板上での講義内容に深く関わる質問に対しては、当センターのスタッフだけでは対応できない場合があります。講義コンテンツに関しては、制作から最終確認に至るまで、担当教員がすべてをおこなう場合もありますが、分野の内容に精通した数名の TA を雇用することを強く推奨します。

Q5. 配信する MOOC はどのように決まりますか。

教育コンテンツ活用推進委員会では、MOOC の配信に関して各部局からの意見を集約しています。また、スーパーグローバル大学創成支援事業のような教育プロジェクトが講義担当教員を決定することもあります。

Q6. 配信終了後、講義は見られなくなってしまうですか。

講義によって異なりますが、通常、講義はアーカイブ化され、講義終了後もほとんどの講義ビデオや課題にアクセス可能です。アーカイブされた講義では成績が提示されません。

Q7. 多くの受講者を集めるためにはどうすればいいですか。

時機を得たテーマの選択、講義名の工夫、魅力的な紹介ビデオの制作等、いくつかのポイントがありますので、打合せ時に個別に調整します。また、学会等のウェブサイトやメーリングリスト等を使って関連する学問分野のコミュニティに周知することも効果的です。

Q8. MOOC を京大の講義として単位を出せますか。

現時点では単位を出すことは認められていません。しかし、世界的に、MOOC による講義を大学の単位として認定する動きは加速しています。

Q9. MOOC 制作のために、どの程度予算を確保しておけばよいですか。

現状、撮影スタジオ利用費、講義ビデオの撮影・編集、講義コンテンツのシステムへの設置等、MOOC 制作のための基本的業務に関する費用は当センターで負担しています。講義コンテンツの制作や掲示板対応等を担当する TA の雇用や、教材の翻訳、特殊な教材開発等、その他の案件に関しては、個別にお問い合わせ下さい。